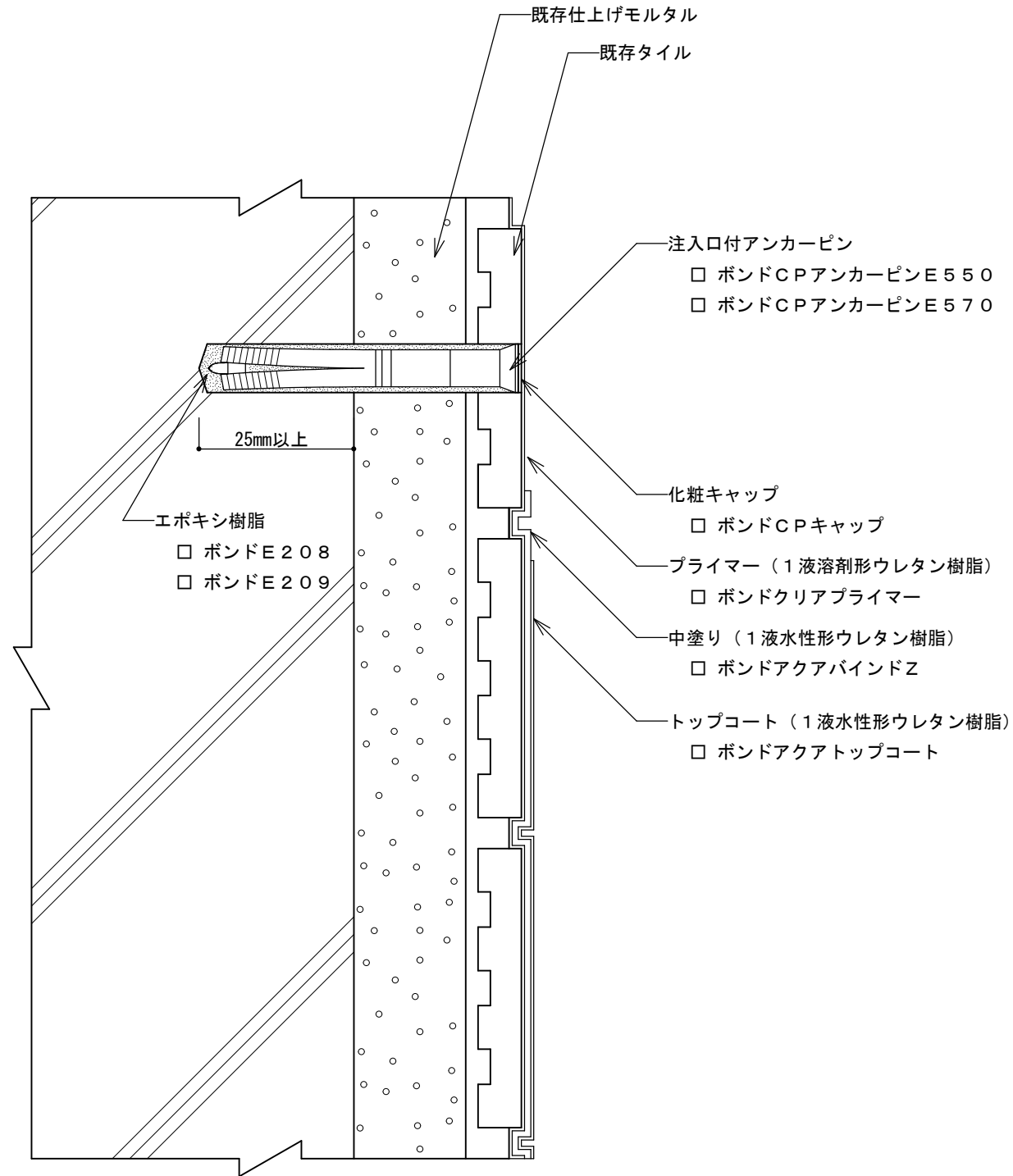


ボンドアクアバインド工法

BK-02-01

(外壁複合改修工法)



- | | |
|--|---|
| <p>補修範囲の確認</p> <p>↓</p> <p>下地劣化部の補修</p> <p>↓</p> <p>目地詰め</p> <p>↓</p> <p>アンカーピン施工</p> <p>↓</p> <p>下地洗浄</p> <p>↓</p> <p>プライマー塗布</p> <p>↓</p> <p>中塗り(1回目)</p> <p>↓</p> <p>中塗り(2回目)</p> <p>↓</p> <p>中塗り(3回目)</p> <p>↓</p> <p>膜厚検査</p> <p>↓</p> <p>トップコート塗り(1回目)</p> <p>↓</p> <p>トップコート塗り(2回目)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れ、浮きの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・工法指定の下地処理に順じて、ひび割れ、浮き、欠損部等の補修をする。 ・目地深さ3mm以上、また目地にひび割れ・欠損がある場合は目地詰めする。 ・マーキング：せん孔する位置はタイル中央部とし、マーキングする。
(側壁は4本/m²、パラペット天端は6本/m²) ・ドリルせん孔：無振動ドリルでせん孔した後、アンカーピンの径に合わせた座掘りをする。 ・樹脂注入と専用アンカーピンの固着：「ボンドCPアンカーピン」を挿入し、ハンマーと打込棒を使用して拡張子を打込んだ後、グラウトガンで「ボンドE208」または「ボンドE209」を注入する。 ・化粧キャップ：アンカーピン頭部に「ボンドCPキャップ」を装着する。 ・高圧水洗浄（15MPa以上）を行う。
※必要に応じて希塩酸洗浄する。洗剤はよく洗い流すこと。 ・洗浄後、目地は十分に乾燥させる。 ・成分が沈殿している場合があるため、使用前に缶をよく振って均一にする。 ・中毛ローラーを用い、特に目地部に確実に塗布されるように施工する。
ボンドクリアプライマー ・中毛（無泡）ローラー（専用ローラー：大塚刷毛製造㈱「WAKABA」）を用い、タイル面、目地部に対して塗り残しのないよう塗布する。
ボンドアクアバインドZ ・施工前に中塗り（1回目）が十分に乾燥していることを確認する。 ・中塗り（1回目）と同様の手順で塗布する。
ボンドアクアバインドZ ・中塗り（2回目）と同様の手順で塗布する。
ボンドアクアバインドZ ・トップコート施工前に、膜厚計を用いて膜厚が確保できていることを確認する。 ・施工前に中塗りが十分に乾燥していることを確認する。 ・つや消し材が沈降している場合があるためミキサーを用いて十分に攪拌し、均一になったことを確認してから、中毛ローラーを用いムラ無く塗布する。
ボンドアクアトップコート ・適切な養生時間が経過し、表面が十分に乾燥していることを確認した後、トップコート（1回目）と同様の手順で塗布する。
ボンドアクアトップコート |
|--|---|

図面番号： No. 39

縮尺： 1/1



BESTEM ボンドで創るベストシステム
— ベステム —